

I 小野 卓 担当パート

タイトル：事の始まりからミノルとの出会いまで

1. 小野 卓(オノタカシ)の生育歴

幼少期：鹿児島県加世田市、高校卒業まで鹿児島市、大学以降東京へ
職歴：東京本社勤務のほか、ニューヨーク・ソウル・シドニー勤務経験

2. 事の始まりは「Air Mail 封筒の宛名書き」

中学時代、祖父の指示により チリの親戚宛封筒の宛名書き

3. Seoul 支店時代に得た情報

居住拠点・逃避先の分散を図る大家族の事例を認識

4. 豪州三井物産、Sydney 本店勤務時代

1995年の阪神淡路大震災を機に、マクロ/ミクロのリスク分散の考え方を再認識

5. 小野太兵衛探しの始まりは 2000 年から

勤務先の海外派遣研修制度に基づき 2000年に若手社員 MI 氏をチリへ派遣

6. 2023年5月に劇的な展開が待っていた

MI 氏に親族探しの依頼を再度行い、チリの親戚との連絡が再開

II 小野 敏彦 担当パート

タイトル：偶然が導いた記録と記憶—南米訪問から『海の向こうに見た夢』刊行まで

1. 2023年12月：南米訪問という出発点

ペルー(12/2~12/7)、チリ(12/7~12/14)、アルゼンチン(12/14~12/20)

2. 資料収集活動：点と点を結ぶ作業

JICA 横浜海外移住資料館、外務省外交史料館、横浜開港資料館、
(株)商船三井、チリ日系人歴史アーカイブ

3. 書籍づくり：「笠戸丸プロジェクト」の着手から刊行まで

ライター、装幀家の起用
多言語対応と和文、英文、西文の校閲者と連携

III オノ ミノル 担当パート

タイトル：二つの祖国を生きる—チリのオノ家四世代目として日本へ

1. 種まき(幼少期～アイデンティティの芽生え)

父の言葉・名字の重み、JICA 関係者との出会い
日本人が町に来たことで、文化が「知識」から「体験」へ

2. 覚醒(青年期～日本への第一歩)

「日系 (Nikkei)」という言葉と社会活動
2018 年「世界青年の船(SWY)」への参加

3. 越境(日本移住～奇跡の再会)

曾祖父と同じ道のりと日本社会でのリアリティ

4. 展望(「日系人の心」と未来)

チリ日系社会の危機と新しい定義「Nikkei no Kokoro」

5. 結び

「冒険心」を持ち続け、二つの国と文化を繋ぐ「架け橋」として生きる決意

IV 井料 敏和 担当パート

タイトル：『海の向こうに見た夢』プロモーション戦略とクラウドファンディング

1. プロモーション戦略—NHK 堂満氏の指南に基づく展開

南日本新聞 南さつま支局(加世田)、および東京支社への取材依頼
海外日系人協会主催の第 65 回海外日系人大会におけるオノ ミノルの発表
海外日系人協会における書籍委託販売
KTS 鹿児島 TV での塩田鹿児島県知事表敬訪問ニュース放映
駐日チリ大使館 文化・広報部門への協力依頼

2. For Good でのクラウドファンディング

目的はチリ・ペルー・アルゼンチンの日系人協会への書籍輸送費等
目標金額 100 万円に対して、110 人から 120 万円余りの寄付

3. 書籍寄贈先(日系人協会と図書館)

鹿児島・横浜の図書館計 6 館に加え、チリ・ペルー・アルゼンチンの日系人組織、
図書館に寄贈